

2011年9月26日

報道関係各位

阪急バス株式会社  
阪神バス株式会社  
阪急田園バス株式会社

## 阪急バス・阪神バス・阪急田園バスの共通ICカード乗車券の導入について

阪急バス株式会社（本社：豊中市庄内西町、社長：小津正弘）、阪神バス株式会社（本社：尼崎市大庄川田町、社長：久須勇介）と阪急田園バス株式会社（本社：宝塚市大原野字南大中、社長：寺西保）は、株式会社スルッとKANSAIが発行するICカード乗車券「PiTaPa」等をご利用いただけるサービスに加え、新たに2012年4月より3社共通ICカード乗車券をご利用いただけるようになります。

概要につきまして下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 利用開始時期

2012年4月1日（日）（予定）

#### 2. 導入理由

阪急・阪神の統合施策の一環として、2007年4月から阪急バス・阪神バス・阪急田園バスの3社でご利用いただける磁気カード「阪急・阪神バス共通カード」を発行していましたが、お客様の利便性のさらなる向上を図るため、磁気カードからICカード乗車券へ移行いたします。

#### 3. ご利用範囲

阪急バス、阪神バスおよび阪急田園バスの一般路線全線（※空港リムジンバス、深夜急行バス、有馬急行線、高速バス等ではご利用いただけません）

#### 4. ICカード乗車券について

##### （1）導入サービス

- ・プリペイドサービス（プレミア付き）

##### （2）プリペイド券のサービスについて

- ・チャージ（積み増し）金額に10%のプレミアが付加されます。

##### （3）新規購入

- ・阪急バス、阪神バス、阪急田園バスの案内所・営業所で購入いただけます。また、カード（大人のみ）はバス車内でも購入いただけます。

#### 5. 磁気カードについて

- ・阪急バス、阪神バスおよび阪急田園バスでは、3社でご利用いただける「阪急・阪神バス共通カード」の発売は2012年春をもって終了する予定です。
- ・阪急バス、阪急田園バスでは、阪急・阪神バス共通カードおよびスルッとKANSAIカードの利用は2012年秋をもって終了する予定です。  
※阪神バスでは継続してご利用いただけます。

以上

〈資料提供先〉青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、西宮市政記者クラブ、豊中記者クラブ